



明倫

舞鶴市立明倫小学校
令和7年8月28日
9月号



さいこう 最幸の自分をつくる3つのポイント!

日焼けし一回り大きくなった子どもたちが、元気いっぱいの笑顔とともに学校に戻ってきました。長い休みを活かし、継続して何かに取り組んだり、家族の一員として役割を果たしたり、親戚とゆっくり過ごしたりと、きっとそれぞれに様々な体験をして有意義な時間を過ごすことができたことと思います。その間、子どもたちが安全に過ごすことができたのは、地域の皆様、保護者の皆様の温かい見守りのお陰です。本当にありがとうございました。

また、8月24日(日)には大変暑い中、学校の環境美化作業を子どもたちと一緒に保護者の皆様にお世話になりました。普段、子どもたちではできない高い窓ガラスや桟を中心に清掃していただいたお陰でとてもきれいになり、気持ちよく2学期のスタートを切ることができました。

さて、この夏休みに、元阪神タイガース監督の矢野 燿大氏の講演を聴く機会がありました。監督時代に多くの選手を育て、現在も「オレたちの野球プロジェクト」を立ち上げ、子どもたちの人材育成に取り組んでおられる矢野元監督の「最幸の自分をつくる3つのポイント」のお話はとても感銘深いもので、さっそく今日の始業式で子どもたちに伝えました。

① 可能性を信じ切る! ②ピンチはチャンス! ③誰かのために! + 「感謝」

結果は変えられませんが、物事の捉え方は自分で変えられます。子どもたちの可能性を信じ、脳とメンタルを最幸の状態にする声掛けを根気強くし続けることで、ポジティブなものの捉え方ができる子どもに育ちます。「できない可能性より、できる可能性を探す。その子のいいところを見る。」「何のチャンスかを考えさせる。前向きな気持ちでチャレンジさせる。」「お礼ではなく感謝。当たり前なのに手を合わせられる気持ちを育てたい。」

今学期は、運動会をはじめ、マラソン大会、音楽集会、異年齢活動(たなべ班活動)、後期児童会本部選挙、5年野外活動等々、多くの行事や活動があります。教室での学習はもちろん、この行事や活動は子どもたちにとって、また一歩成長する貴重な機会になります。PTAの皆様にも、学校の行事のお手伝いをボランティアとしてお願いしますが、是非とも積極的に子どもたちに関わっていただき、支えていただきますようお願いいたします。

2学期も、教職員一同、安心・安全な教育活動に努めてまいります。保護者や地域の皆様には、引き続きご理解とご協力を、よろしく願いたします。

校長 岡本 恵理子 教職員一同



酷暑の夏休みの間も地域の方に手入れしていただいて美しく咲く正門の花々

